

2020年度 地方創生推進交付金事業検証シート

資料 1

交付対象事業

地域の歴史文化資源を活用したインバウンド推進事業

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
流鏝馬再現事業	4,000,000	435,539	217,769
能文化普及事業 講演・フォーラム開催用	500,000	0	0
唐古・鍵考古学ミュージアムのインバウンド向け広報強化	1,141,000	377,960	150,635
観光振興等普及啓発事業	600,000	72,000	36,000
日本書記編纂1300年に合わせたイベント広告費用	500,000	316,778	158,389
計	6,741,000	1,202,277	562,793

事業名	流鏝馬再現事業		担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により流鏝馬イベントの開催は見送られ、令和元年度に実施した流鏝馬まつりの写真展が開催された。(実施主体は田原本町流鏝馬実行委員会)		
	事業効果	写真家が撮影した臨場感のある写真が多数展示され、今後の開催への期待を高めることにつながった。		
今後の方向性	令和3年度も2年度同様イベントの開催は見合わせる事となったが、令和4年度の実施に向け、引き続き実施団体の活動を支援をしていく。			

事業名	能文化普及事業 講演・フォーラム開催用		担当課	文化財保存課
事業評価	進捗状況	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のためイベント中止		
	事業効果	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のためイベント中止		
今後の方向性	今後も継続して事業を支援していきたい。			

事業名	唐古・鍵考古学ミュージアムのインバウンド向け広報強化	担当課	文化財保存課
事業評価	進捗状況	春季企画展図録『古のアクセサリー工房』を多言語化して刊行した。	
	事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来館者は5,741人とどまった。	
今後の方向性	今後も出版物や動画配信、イベントの開催等を通して唐古・鍵考古学ミュージアムへの来館者増を図る。		

事業名	観光振興等普及啓発事業	担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、民間団体の実施する各種イベント等がもれなく開催中止となった。	
	事業効果	事業を実施できず、効果なし。	
今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、引き続き実施団体の活動を支援していく。		

事業名	日本書記編纂1300年に合わせたイベント広告費用	担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	記紀万葉事業の一環として短歌のコンテストを実施 (実施主体は田原本町記紀・万葉事業実行委員会)	
	事業効果	海外1か国、40都道府県から応募があり、本町の認知を広めることができた。	
今後の方向性	引き続き、事業実施を支援していく。		

KPI検証

KPI		事業開始前	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
流鏑馬・能フォーラムにおける外国人観光客数(人)	目標値	-	220	250	260	310
	実績値	0	141	0		
唐古・鍵遺跡史跡公園年間来場者数(人)	目標値	-	68,000	71,000	74,000	77,000
	実績値	65,000	116,134	69,342		
唐古・鍵考古学ミュージアム年間来場者数(人)	目標値	-	14,000	15,000	16,000	17,000
	実績値	13,000	13,278	5,741		

KPI	流鏑馬・能フォーラムにおける外国人観光客数(人)	担当課	地域産業推進課
評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、流鏑馬や能フォーラムが中止となったため、外国人観光客はゼロであった。		
今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、引き続き実施団体の活動を支援していく。		

KPI	唐古・鍵遺跡史跡公園年間来場者数(人)	担当課	文化財保存課
評価	4～6月に新型コロナウイルス感染症対策のため休園し、予定していたイベントの中止があったが、感染症対策を行ったイベントの開催や学校利用などにより、目標値をやや下回る程度の来園者減にとどまった。		
今後の方向性	感染症対策をとりながら、継続的にイベントの開催と、広域的な連携イベントや積極的な広報活動を行うことで来園者増を図る。		

KPI	唐古・鍵考古学ミュージアム年間来場者数(人)	担当課	文化財保存課
評価	新型コロナウイルス感染症対策のため4～6月に休館したため、企画展は1回の開催だったこともあり、年間来館者は5,741人とどまった。		
今後の方向性	今後も出版物や動画配信、イベントの開催等を通して唐古・鍵考古学ミュージアムへの来館者増を図る。		

2020年度 地方創生推進交付金事業検証シート

交付対象事業

地域資源を活かした女性向け田原本ブランド化促進事業

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
道の駅、唐古・鍵遺跡史跡公園、田原本駅前広場、青垣生涯学習センター等で女性をターゲットとした賑わい創出事業	3,000,000	2,106,950	1,053,475
町外の女性をターゲットとした、より戦略的な広報	607,000	420,200	210,100
計	3,607,000	2,527,150	1,263,575

事業名	道の駅、唐古・鍵遺跡史跡公園、田原本駅前広場、青垣生涯学習センター等で女性をターゲットとした賑わい創出事業	担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	本町にゆかりのある縁結びの神様三穂津姫を題材としたイベントを実施	
	事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響により、賑わいの創出には至らなかったが、SNSでの配信を行った動画は延べ3,000回以上視聴され、本町の歴史文化を広く発信することができた。	
今後の方向性	引き続き、賑わい創出に取り組んでいく。		

事業名	町外の女性をターゲットとした、より戦略的な広報	担当課	秘書広報課
事業評価	進捗状況	田原本町出身の酒井藍さん(吉本興業株式会社所属)に「たわらもとPR大使」として、町の特産品をはじめとした魅力発信PRを行っていただいた。	
	事業効果	①各報道機関による取材・記事掲載による県外への情報発信 ・テレビ局(1社)によるニュース放映・動画配信(再生回数約1,000回) ・新聞社(3社)による新聞紙面記事・WEB記事による掲載 ②町公式SNSによる情報発信 ・町公式フェイスブックでの「いいね・リアクション数」は令和2年度投稿中2位(271件) ・町公式Instagramでの「いいね・リアクション数」は令和2年度投稿中4位(112件) など、PR大使を務めていただく酒井藍さんの知名度を活かし多方面での情報発信を行ったことにより、田原本町への理解を深め、来てみたいと思わせるきっかけになったと考える。	
今後の方向性	ターゲットは女性と定めているが、そのうえでどういったものを伝えたいのか。例えば、田原本町のもの(農産物、特産品など)を購入してほしいのか?定住してほしいのか?観光に来てほしいのか?目的を定かにしたうえで、広く周知できる方法(ホームページ、SNS)を駆使して発信方法を考えていきたい。		

KPI検証

KPI		事業開始前	2019年度	2020年度	2021年度
道の駅の女性訪問客数(人)	目標値	150,000	170,000	200,000	250,000
	実績値	130,896	118,866	103,381	
観光ガイドブックや広報誌の 田原本町土産品の年間掲載数(回)	目標値	-	11	31	61
	実績値	1	30	19	
ミシュランガイド他に掲載される 田原本町のレストラン数(件)	目標値	-	3	5	7
	実績値	1	7	1	

KPI	道の駅の女性訪問客数(人)	担当課	地域産業推進課
評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための閉館措置が取られたことや、広域的な移動の自粛要請などにより来場者数は減となった。		
今後の方向性	SNS映えするものや流行のメニューを取り入れるなど、集客に向けた取り組みを進める。		

KPI	観光ガイドブックや広報誌の田原本町土産品の年間掲載数(回)	担当課	秘書広報課
評価	県内・県外へ幅広い情報発信を行うべく、新聞社・テレビ局等報道機関への町からの情報提供による記事掲載、民間業者との協働によるPRラッピングトラックの全国区走行、フリーマガジン、町公式SNS、広報紙(紙面・オンライン発信)など、複数の媒体を用いて発信を行った。前年度の実績値は上回っているが、新型コロナウイルス感染症の影響によるPRイベント等の中止・規模縮小による情報発信機会の減少もあり、目標値には届かなかった。		
今後の方向性	令和3年より本格稼働している田原本まちづくり観光振興機構、町商工会等との連携、また報道機関への情報提供を活発に行い、フリーマガジンや新聞紙、広報紙等の紙媒体、またSNS等オンラインによる発信媒体を用いて高頻度の情報発信を行っていく。		

KPI	ミシュランガイド他に掲載される田原本町のレストラン数(件)	担当課	秘書広報課
評価	目標値に実績が届かない結果となったが、これは新型コロナウイルス感染症の影響による自粛ムードの長期化、感染防止の観点から他府県の越境が推奨されない状況など飲食店にとって来客が見込み難い環境の中で、商工会作成の町内飲食事業者テイクアウト特集チラシの周知等、町外・県外ではなく身近な地域への周知を重視したためである。		
今後の方向性	令和3年より本格稼働している田原本まちづくり観光振興機構、町商工会等、民間飲食事業者と接点を持つ組織と連携し、県内外の感染状況等、その時々状況に見合った情報発信を行っていく。		

2020年度 地方創生推進交付金事業検証シート

交付対象事業

地域価値を高める支援を行う持続可能な組織設立プロジェクト

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
田原本町観光基本計画策定事業	3,000,000	3,000,000	1,500,000
組織補助金	30,330,000	23,423,512	11,711,756
計	33,330,000	26,423,512	13,211,756

事業名	田原本町観光基本計画策定事業	担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	町内事業者等や、観光事業における有識者の意見を拝聴し、基本計画を策定。	
	事業効果	今後の観光振興施策の指針を定めることができた。	
今後の方向性	R2年度で終了		

事業名	組織補助金	担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	10月1日に、旧観光協会をベースに一般社団法人を設立。観光事業に加え、商・工・農の地域産業の活性化を担う団体として事業を開始。	
	事業効果	情報発信機能を強化したことにより、ホームページの閲覧数が大幅に伸びるなど交流人口が拡大した。	
今後の方向性	引き続き、観光客数の増加や地域の活性化に向けた取り組みを支援していく。		

KPI検証

KPI		事業開始前	2020年度	2021年度	2022年度
新組織によりブランディング化した製品数(個)	目標値	-	0	1	2
	実績値	0	0		
観光ステーションの来場者数(人)	目標値	-	4,999	5,499	5,999
	実績値	4,799	2,246		
新組織が設置するウェブサイト年間アクセス数(PV)	目標値	-	600	900	1,200
	実績値	0	48,122		

KPI	新組織によりブランディング化した製品数(個)	担当課	地域産業推進課
評価	町産品のブランディングに向け、ECサイトの開設やオリジナルロゴマークのデザインを実施		
今後の方向性	取り扱い商品を拡充し、田原本町産を広くPRしていくとともに、新たな特産品の開発に取り組む。		

KPI	観光ステーションの来場者数(人)	担当課	地域産業推進課
評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための閉館措置が取られたことや、広域的な移動の自粛要請などにより来場者数は減となった。		
今後の方向性	観光ルートの提案やイベント企画など観光客数の増加に向けた取り組みを進める。		

KPI	新組織が設置するウェブサイト年間アクセス数(PV)	担当課	地域産業推進課
評価	町内の見どころや飲食店、イベント情報などをわかりやすく表示し、発信頻度を高めたことで、半年間で48,000件ものアクセス数を得た。		
今後の方向性	引き続き効果的な情報発信を行う。		

2020年度 地方創生推進交付金事業検証シート

交付対象事業

飛び地型自治体連携による若者から90歳代の後期高齢者の全てが生きがいを持って過ごせるための健幸まちづくり事業

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
社会参加型健幸ポイント事業	45,786,000	36,917,541	18,458,769
計	45,786,000	36,917,541	18,458,769

事業名	社会参加型健幸ポイント事業	担当課	長寿介護課
事業評価	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・513名の参加(40歳以上の町民)【令和3年3月31日時点】 ・80歳以上の参加者が全体の 16.6% ・健幸アンバサダーの養成人数 200名 	
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・平均歩数: 5,248歩(事業当初)→6,709歩(事業開始3か月後) ・国の推奨歩数達成者もしくは1500歩以上の増加した者の割合: 51% 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●リアルイベント等の実施 ●地元商工会や警察等と協力した広報や事業の実施 ●他課と協力した事業の拡充 		

KPI検証

KPI	事業開始前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	目標値			700	950	1,180
	実績値					
健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	-	5,500	7,810	9,980	12,180
	実績値	2,750	5,048			
80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	-	800	1,200	1,500	1,830
	実績値	300	633			
健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	目標値		600	1,200	1,700	1,900
	実績値		1,062			

KPI	医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	担当課	長寿介護課
評価	2020年度は未実施。		
今後の方向性	医療費・介護給付費の分析は事業3年目(2022年度)に実施予定。		

KPI	健幸ポイント事業の参加者数(人)	担当課	長寿介護課
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・田原本町では昨年度 KPI 参加者 500名を上回る 513名の参加 ・当初の広報及び口コミで広まった 		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な勧誘を行う(老人会・自治会等) ・人の往来が多い場所でのポスターの掲載等の告知 		

KPI	80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	担当課	長寿介護課
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・田原本町では昨年度のKPI 80歳以上の参加者の割合 5%を上回る 16.6%を達成 ・高齢者の割合を上げるためにインセンティブを新たに設けた 		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなるインセンティブの設定 ・高齢者への告知を定期的に行う 		

KPI	健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	担当課	長寿介護課
評価	田原本町では事業参加者への事後アンケートにて、ボランティア等への参加有無を確認。当町のアンケート回答者422人のうち、205人(53.6%)が「参加している」と回答。		
今後の方向性	「参加している」と回答した参加者は4市町合計で1,062人。2021年度においても同様の設問を設定し、人数を確認する。		